



工学部長記者懇談会(9月)

日時:9月14日(木) 10:30~11:10 100周年記念会館

【発表事項】

(1)10:30~10:50

資料1

「360°よねざわオープンファクトリー」に参加します！

～9月15日(金)～9/16(土)に旧米沢工業高等学校本館にて～

発表者:学術研究院 教授 黒田 充紀(学部長)

(2)10:50~11:10

資料2

ひらめき☆研究ライフ

発表者:学術研究院 助教 邢文静(シュン ウンジュン)

(理工学研究科 熱流体・エネルギー工学)

【通知事項】

(3)11:10～

資料3

女性研究者裾野拡大セミナー in 山大工学部 2023

～9月30日(土)14時から米沢キャンパスで開催！！～

(4)11:15～

資料4

古川英光研究室が9月20-22日にFOOD展(会場 東京ビッグサイト)に、
初公開の3D調理プリンタを出展します！

【次回開催予定】

10月12日(木) 10:30~12:00(100周年記念会館)

【2023年度 工学部学部長記者懇談会開催予定】

11月16日（木） 10：30～12：00（100周年記念会館）

12月14日（木） 10：30～12：00（100周年記念会館）

1月18日（木） 10：30～12：00（100周年記念会館）

2月15日（木） 10：30～12：00（100周年記念会館）

3月7日（木） 10：30～12：00（100周年記念会館）

令和5（2023年）年9月14日

「360° よねざわオープンファクトリー」に参加します！ ～9月15日（金）～9/16（土）に旧米沢工業高等学校本館にて～

【本件のポイント】

- 9月15～16日、米沢市で行われる「360° よねざわオープンファクトリー」に、地域共創に向けた取組の一環として参加します。
- 「オープンファクトリー」とは、ものづくり企業が生産現場を外部に公開し、来場者にもものづくりを体験してもらう取組で、山形県では初の試みになります。
- 素敵なゲストをお招きし国の重要文化財である旧米沢高等工業学校本館を活用した新たな体験を提供する『山大トークイベント』を開催します。（詳細はチラシにてご確認ください。）



【概要】

山形大学では、将来ビジョンとして『つなぐちから』をキーワードに共育・共創・共生による持続可能な社会の実現を目指しています。米沢キャンパスでは、9/15（金）～9/16（土）に行われる「360° よねざわオープンファクトリー」に地域共創の一環として参加します。「オープンファクトリー」とは、ものづくり企業が生産現場を外部に公開し、来場者にもものづくりを体験してもらう取組みです。従来から工場見学やツアーといった形態で実施されており、近年では地域を一体的に見せていく「地域一体型オープンファクトリー」という取組へと進展をみせており、「360° よねざわオープンファクトリー」でも20団体が参加し、40近いイベントが開催されます。旧米沢高等工業学校本館（重文）では、チェンバリストの福田直樹氏のコンサートや繊維・芸術分野で活躍されている皆様のトークイベント等を開催します。また、重文のガイドツアーを名誉館長と大学院生が行い来場者との交流も図ります。重文は、工学部113年の歴史を紡ぐ建物であり、地域にとっても米沢駅舎のモデルになる等シンボリックな建築物です。今後も重文を軸にイノベーション・コモンズ（共創拠点）化に向けた取組を進めてまいります。

【背景及び今後の展望】

米沢のまちにはたくさんの魅力があり、伝統産業も代表的な魅力の一つ。一方で、コロナ禍の中、本学学生は、キャンパスとアパートの行き来だけとなってしまう、米沢を知らないまま卒業する学生も多かった。今回の「360° よねざわオープンファクトリー」は、県外の方だけでなく、県内の皆様にも、米沢の魅力を伝えるべき企画されたイベントであり、「360° よねざわオープンファクトリー」を手段に、「米沢を訪れるひと」と「米沢に根差して暮らすひと」を直接つなげ、「未来の米沢ファンをつくる」機会をつくることをコンセプトに企画されており、本学将来ビジョンの趣旨にも合致するため、企画段階から参画した。旧米沢高等工業学校本館（重文）が米沢キャンパスのイノベーションコモンズ（共創拠点）の軸となり、さらには米沢キャンパス全体が地域から愛される存在となることを目指していきます。

【当日開催するイベント】

日時：9月15日（金）、9月16日（土）

～山形大学工学部関連イベント～

※事前申込のイベント

9/15（金）13：00～福田直樹氏 チェンバロコンサート

<https://www.360yonezawa.com/program/talkevent-01>

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

9/15（金）14：00～ トークイベント「時代が求めるオープンファクトリー」 登壇：米富繊維 大江健 +
nitorito 鈴木健太郎

<https://www.360yonezawa.com/program/talkevent-01>

9/16（土）14：00～ 「アート視点でみる米沢の伝統産業」 登壇：美術家 石山和広 + textile artist 山口英夫

<https://www.360yonezawa.com/program/talkevent-02>

※申込不要のイベント

旧米沢高等工業学校【重要文化財】ツアー

<https://www.360yonezawa.com/program/yamadai-01>

イベントの詳細情報は、HP やSNS で随時更新していきます。ぜひフォローをお願いいたします。

公式HP：<https://www.360yonezawa.com/>

Instagram：https://www.instagram.com/360_yonezawa/

お問い合わせ

山形大学工学部米沢キャンパス事務部総務課

TEL: 0238 (26) 3150 Email: yu-kousoumu@gp.yz.yamagata-u.ac.jp

山形大学旧校舎で楽しむ

(山形大学工学部 旧米沢高等工業学校本館)

音楽とトーク

各日先着
25名

国の重要文化財である山形大学工学部 旧米沢高等工業学校本館にて開催！明治時代にタイムスリップしたかのような空間をお楽しみください。

日時 令和5年

9/15(金)・16(土)

定員 先着 25 名

締切 9月13日(水)まで

場所

山形大学工学部 旧米沢高等学校工業学校本館(国の重要文化財)2階
山形県米沢市城南 4 丁目 3-16 (山形大学 工学部) ※オンライン参加可能 (有料)

金額

15日(金) 2,500 円

コンサート代、トークイベント代、
ファクトリー巡り、食事代、ドリンク代

16日(土) 2,000 円

トークイベント代、食事代、ドリンク代

●オンライン参加は500円(2日間分)

ランチ: The CÔSA
本格カレードリンク: SideSlideCoffee
アルコールorソフトドリンク 1杯付

チケット購入方法

●オンラインストアよりご購入 <https://noasobi.stores.jp/>●FAXにてお申し込みの場合は、下記の用紙をご利用下さい。
FAXでお申し込みの場合は、当日会場にてお支払いお願いいたします。

オンラインストアはコチラから▶



スケジュール

15
日
(金)11:30 受付開始
12:00 ランチ提供
13:00 福田直樹氏 チェンバロコンサート
14:00 米富ストア 大江健氏 ×nitorito 鈴木健太郎氏
クロストークイベント テーマ「時代が求めるオープンファクトリー」
15:00 質疑応答
15:30 鈴木氏と行くファクトリー巡り16
日
(土)12:30 受付開始
13:00 ランチ提供
14:00 美術家 石山和広氏
× 山口織物 山口英夫氏
クロストークイベント
テーマ「アート視点でみる米沢の伝統産業」
15:30 質疑応答

同時開催企画 山大学生による旧校舎ツアー [15日開催]①11:00 / ②15:30 [16日開催]①15:30 ご参加希望の方はいずれかの時間帯に受付までお越しください。

9月15日(金) ゲスト

ふくだなおき
福田 直樹氏
ピアニスト・チェンバリスト

1960年、東京都生まれ。シュトゥットガルト国立芸大、ウィーン・コンセルヴァトワールにて研鑽を積む。国際コンクールに多数入賞。世界各国での演奏や音楽を通しての治療教育、学校や福祉施設への出前演奏を長年にわたり行う。2017年、米沢市南原猪苗代町に移住。

おおえけん
大江 健氏
米富繊維株式会社 代表取締役社長

1977年、山形県生まれ。2007年、家業の老舗ニットメーカー米富繊維株式会社に入社し、ニットテキスタイルの企画開発に携わる。2010年に自社ブランド「COOHEM(コーヘン)」を立ち上げ、国内外に日本のファクトリーブランドの進化を発信する。

すずきけんたろう
鈴木 健太郎氏
株式会社 nitorito 代表取締役社長

1976年、山形県米沢市生まれ。明治10年創業の歴史のあるテキスタイルメーカーである青文テキスタイルに23年間在籍後、新しい米沢織の価値観を追求するために2020年に株式会社nitoritoを設立。米沢の風景をデザインテーマに made in Yonezawa を発信。

いしやまかずひろ
石山 和広氏
美術家

1981年、山形県天童市生まれ。2008年東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。おもに写真をもとに平面制作を行う。おもな受賞に、2018年「The Best of the Best TMA Art Awards」グランプリ、2011年第五回秀桜基金留學賞。

やまぐちひろお
山口 英夫氏
Textile artist

1962年、山形県米沢市生まれ。家業である機屋(織物製造業)の三代目として山形県米沢市に生まれ、文化服装学院で学び、1990年に伝統的な織物技術にデジタル技術を融合。以後、イメージを織物で表現する作家としてアイデンティティを確立する。

主催：山形大学工学部 お問合せ先：米沢市本町 2 丁目 1-12 マチスタデオ Email : h.miyajima@plat-yonezawa.jp TEL : 090-2884-7905

FAXでお申込みの場合 ご記入の上FAXしてください(FAX 0238-33-0093)

フリガナ				〒	
ご氏名				ご住所	
参加日	9/15(金)・9/16(土)	参加人数	人	TEL・FAX	TEL / FAX
参加形態	会場参加・オンライン参加	メールアドレス			

※ご記入いただいた個人情報、各種連絡・情報提供のために利用するほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。
※オンライン参加ご希望の方は、メールアドレスを必ずご記入ください。 ※オンライン参加希望の方は別途、支払方法について連絡いたします。

関係者各位

山形大学理工学研究科長・工学部長
黒田充紀

「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントー山大トークイベントーのご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は当大学の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、米沢市にて来月、米沢の魅力を PR し、まち全体の観光や産業をさらに元気にしていくことを目的に、地域一体型の「360°よねざわオープンファクトリー」が開催されます。山形県では初の試みであり、行政と民間団体が団結し、開催に向けて準備を鋭意進行しています。

当大学では、関連イベントとして、下記の通り、素敵なゲストをお招きし国の重要文化財である旧米沢高等工業学校本館を活用した新たな体験を提供するイベントを行う予定です。

つきましては、是非お誘い合わせの上、ご来場いただきますようお願いいたします。

敬具

記

■概要

・名称 「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントー山大工学部で体験する織物と芸術ー

・日時 ①9月15日(金)13時～、②9月16日(土)14時～ 詳細は添付チラシのとおり

・場所 山形大学工学部 旧米沢高等工業学校本館(国の重要文化財)2階
住所 山形県米沢市城南4丁目3-16(山形大学 工学部) ※オンライン参加可能

・タイムテーブル

9月15日(金)

13時～ 福田直樹氏 ピアノコンサート

14時～ 米富ストア 大江健氏 × nitorito 鈴木健太郎氏
クロストークイベント:「時代が求めるオープンファクトリー」

15時～ 質疑応答、鈴木氏と行くファクトリー巡り
※受付は11:30～、ランチ提供は12:00～になります。

9月16日(土)

14時～ 美術家 石山和広氏 × textile artist 山口英夫氏
クロストークイベント:「アート視点でみる米沢の伝統産業」

15時半～ 質疑応答
※受付は12:30～、ランチ提供は13:00～になります。

・金額 1日目 2,500 円 (イベント代(ピアノコンサート含)、ファクトリー巡り、食事・ドリンク代)
2日目 2,000 円 (イベント代、食事・ドリンク代)

・定員 各日 25 名

・申込締切 9月13日(水)

・チケット購入方法

①右記オンラインストアよりご購入ください。

②チラシよりFAXでお申込みください。FAX番号(0238)-33-0093

※添付のチラシにお申込みフォームついております。

オンラインストア→



・同時開催企画

山形大学工学部生による旧米沢高等工業学校本館案内ツアー(無料)

○出発時刻 9/15(金) 11:00~/15:30~, 9/16(木)15:30~

○集合場所 山形大学工学部 旧米沢高等工業学校本館前受付

○所要時間 50 分程度

○留意点 開始時刻までに集合場所にお集まりください

なお、当日の駐車場につきましては、下記をご参照ください。

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>

※イベント参加の旨を守衛室にてお伝えください。

駐車場情報→



以上

添付資料1:「360°よねざわオープンファクトリー」関連イベントチラシ

企画担当:プラットヨネザワ(株) 宮嶋浩聡(みやじま ひろあき)
(TEL)090-2884-7905

■9月15日(金) 出演者



福田直樹(ふくだ なおき)氏

ピアニスト・チェンバリスト

1960 年、東京都生まれ。桐朋学園大学を卒業後、渡欧しシュトゥットガルト国立芸大、ウィーン・コンセルヴァトワールにて研鑽を積む。ヴィオッティ、ポルトー、エンナ等の国際コンクールに多数入賞したほか、世界各国での演奏や音楽を通しての治療教育、学校や福祉施設への出前演奏を長年にわたり行う。2017 年、米沢市南原猪苗代町に移住。2019 年5月から3年間の任期で、米沢 IJU(移住)応援大使を務める。



大江 健(おおえ けん)氏

米富繊維株式会社 代表取締役社長/「COOHEM(コーヘン)」ディレクター

1977 年、山形県生まれ。高校卒業後、IFI ビジネス・スクールでファッションマーケティング、デザイン、ファブリックを学び、東京のセレクトショップに就職。2007 年、国内有名ブランドとの OEM 事業も数多く手掛ける家業の老舗ニットメーカー米富繊維株式会社に入社し、ニットテキスタイルの企画開発に携わる。長い歴史の中で独自に開発されたヴィンテージテキスタイルの数々に着目、ニッツツイードという素材の持つ無限の可能性を表現するため、2010 年に自社ブランド「COOHEM(コーヘン)」を立ち上げる。2015 年、代表取締役社長に就任し、国内外に日本のファクトリーブランドの進化を発信する。



鈴木健太郎(すずき けんたろう)氏

新しい米沢織の価値観を追求するために 23 年間 在移籍した青文テキスタイルの常務取締役を退任し 2020 年 9 月より 株式会社 nitorio を設立。2018 年に青文テキスタイルに入社した斎藤と共に 米沢の魅力を nitorito を通して多くの方に届けるべく活動を始める。nitorito のものづくりの拠点である青文テキスタイル(株)は明治 10 年創業の歴史のあるテキスタイルメーカーです。丸編みとジャガード織機を持つ特殊な生産体系の中 長年培ってきた確かな技術と努力により双方の特徴を融合させながら、テキスタイルの可能性を追求しています。

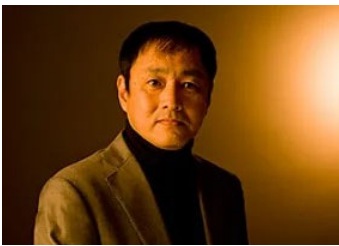
■9月16日(土)出演者



石山和広(いしやま かずひろ)氏

美術家

1981 年、山形県生まれ。おもに写真をもとに平面制作を行う。2005 年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。2008 年東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了(M.F.A.)。近年の展示に、2019 年「秀桜基金留学賞 10 年、そして「今」2006～2015」(岡山県立美術館／岡山)、2016 年「ヴェネチアビエンナーレ国際建築展 2016」(ヴェネチアビエンナーレ日本館／ヴェネツィア、増田信吾＋大坪克亘との協働)、おもな受賞に、2018 年「The Best of the Best TMA Art Awards」グランプリ、2011 年第五回秀桜基金留学賞。



山口英夫(やまぐち ひでお)氏

アーティスト/株式会社織元山口 代表取締役

1962 年、山形県米沢市生まれ。家業である機屋(織物製造業)の三代目として山形県米沢市に生まれ、文化服装学院で学び、1990 年に伝統的な織物技術にデジタル技術を融合。以後、イメージを織物で表現する作家としてアイデンティティーを確立する。

作品のコンセプトは「記憶」。タテ糸とヨコ糸で織ることによって表現する行為は、脳内の記憶の仕組みに通じると考え、作家本人が撮りためた写真を織物にする「織の記憶」をテーマとしている。

山形大学将来ビジョン

つなぐちから。山形大学

共育・共創・共生による持続可能な幸福社会の実現



山形大学将来ビジョンの発行にあたって

山形大学は、1949年の開学以来、常に、大学の進むべき方向性を自らに問い直しながら、社会の期待に応えるべく全力で教育・研究・社会貢献に取り組んできました。

いま、私たちの社会は、産業構造と自然環境が急激に変化する、予測不能で不確実な時代を迎えています。そして、新型コロナウイルスによるパンデミックは、人と人のつながりに大きな影響をもたらし続けています。しかし、このような将来が見通しにくい状況でこそ、大学は明るい未来への道のりを見定めて、前に進まなければなりません。「山形大学将来ビジョン」は、山形大学が掲げる「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」の3つの使命を果たすために、地域社会と共に歩む大学の真の在り方を心に刻むべく策定したものです。

山形大学将来ビジョンのキーワードは“つなぐちから”です。

明るい未来を切り拓く新たな知・新たな価値を生み出すためには、社会に存在する様々な壁を大胆に軽やかに越えて、人と人、異なる知と知を“つなぐちから”が必要です。大学は、その力を発揮するために存在しています。人新世と呼ばれる激変の時代、いまこそ、大学の存在意義に立ち返り、社会の紐帯となって活躍する大学を目指して、「つなぐちから。山形大学」を本学が描く将来像に掲げたいと思います。

将来像へ向かうためには、大学の在り方自体を大きく変える必要があります。

一瞬のうちに世界中で知が共有される現代社会において、大学が知を占有する教員と学生の「教室」だった時代は終わりました。大学は学生・教職員と地域・世界の多様な人々を時間と空間を越えて“つなぐ”「コモンズ」として、様々な個人・組織に対して質が保証された「知」のサービスを提供する事業体となるべきだと考えています。

山形大学が目指すべき「コモンズ」とは、多様な人々・組織や課題をつなげて、協働で新たな知の創出や問題解決を行う知識集約型社会のグローバルな結び目（ハブ）となること。さらには、世代や立場の異なる地域の人々をつなげて、地域で受け継がれる知識・経験をもとに、新たな価値を生み出す地域コミュニティの拠点（コア）となること。この二つを実現する大学づくりを進めます。

新しい大学の在り方の下で、学生には、山形大学での学びを通じて、幸せな未来を自ら思い描き、他者と協力してそれを実現する力と心を身につけてほしいと考えています。豊かな地域文化と雄大な自然に恵まれた山形こそ、自分らしい生き方を見出す最前線の現場です。キャンパスライフで様々なことに挑戦し、自らの可能性を大きく広げることを願っています。

社会に大きなインパクトを与える真のイノベーションは既存の価値観や施策にとらわれない自由な思索から生まれます。そのために、学生・教職員の自由な発想を尊重し、未踏の課題に取り組む研究を時間をかけて育てたいと考えています。

“つなぐちから”がもたらす未来として、「持続可能な幸福社会」を将来ビジョンの副題に掲げました。幸福社会の在り方には、様々な選択肢が考えられます。幸福の定義も多様、尺度もひとつではありません。山形大学は長期的な活動を通じて、科学的なアプローチで幸福の解明や向上に貢献する大学として、独自のアイデンティティ（存在意義）を確立することを目指します。人口減少社会の先にある持続可能な幸福（well-being）を実現するために、どの道のりを選ぶのか。地域の様々な人々と共に考え、共に働いてまいります。

山形大学長 玉手 英利



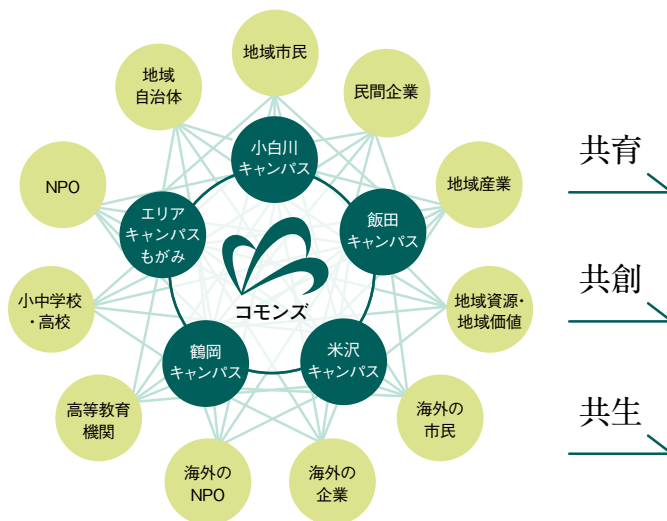
基本宣言

山形大学は、社会と「共に育ち、共に創り、共に生きる」を実践し、
一人ひとりが幸せを手にする世界を目指します。

山形大学は、あらゆる垣根を越えて、
人と人、知識と知識を縦横無尽につなぐちからで、
新時代を切り拓く人材と新たな知を創出し、多様な人々が出会い活躍する
「コモンズ」として、地域から愛され、地域と共に発展する大学になります。

つなぐちから。山形大学

山形大学の多様なステークホルダー



地域・世界の多様な人々を 時間と空間を超えてつなぐ“コモンズ”へ

- 多様な人々・組織や課題をつなげて、
協働で知の創出や問題解決を行うグローバルな結び目
- 世代や立場の異なる人々をつなげて、
地域で受け継がれる知識・経験をもとに
新たな価値を生み出す地域コミュニティの拠点

持続可能な幸福社会の実現 (Sustainable well-being)



【出典】 OECD(2020), How's Life? 2020, OECD Publishing, Paris
日本語訳は How's Life in Japan? に基づく。

- 幸福社会の在り方には様々な選択肢
- 幸福の定義も尺度も様々



“幸福”へ科学的にアプローチ
幸福の解明や向上に貢献する大学

01 | 教育のビジョン

山形大学は、地域・社会の「コモンズ」として、学生と地域の人々をつなぎ、多様な「共育」環境を生み出しながら、学生が自分の成長を実感できる学びを提供していきます。社会のいかなる変化にも対応できる「深く考え実行する力」と「果敢に挑戦する心」を持ち、他者と力を合わせて持続可能な幸福社会を創りあげる人材を育てます。

目標1 深く考え実行する力

デジタル社会に適応した「時と場所に制約されない学び」の環境を積極的に整備し、AIの時代を生きる人間としてなくてはならない、自ら課題を設定し、深く考え、実行する力を育てます。

目標2 果敢に挑戦する心

地域・世界の課題に挑戦する多様な機会を設けて、学生が自分の個性をもとに新たな可能性を発見し、より高い目標へと挑戦する心を育てます。

目標3 他者との協働

大学と地域が一体となって、健康で活気に満ちたキャンパスライフを実現し、社会の一員として他者と協働する「市民」としての成長を支えます。

02 | 研究のビジョン

山形大学は「コモンズ」でつながる膨大な知から、夢に満ちた研究を長期的視野で醸成し、その研究の発展からイノベーションを創出するライフサイクルを構築します。幸福社会を実現するための幸せの素となる知を、あらゆる角度から総合的に創出します。

目標1 知の探究

研究活動の自主性・自律性を大切にして、地域・社会に変革をもたらす研究成果の創出や真理の探究を行います。

目標2 持続的な幸福の追求

多様な組織・機関との領域・分野を越えた学術連携を推進し、地球規模・地域規模での持続的な幸福（sustainable well-being）の実現に貢献します。

目標3 研究コミュニティの創出

長期的視野に立った研究マネジメントを行い、有機的に集合し成長する総合知の研究コミュニティを創出します。



03 | 社会共創のビジョン

山形大学は「コモンズ」でつながる地域の人々・組織と共に、幸福社会の活力となる多様な人材と地域に根ざした新たな価値を創出し、頼れる知のパートナーとして、地域の持続的発展を支える社会基盤となります。

目標1 持続可能な 地域社会の実現

地球的な視野で、地域社会との対話と協働を図るとともに、地域のもつ資源や特性に応じた持続可能な地域社会のモデルを構築し、社会の様々な場でその実現に貢献する人材を育成します。

目標2 世界へと広がる 価値の創出

山形県全域にわたるマルチキャンパスを「知のアーカイブ」にして、各地域で継承される伝統知とデータ駆動型社会で蓄積される新しい知から、世界へと広がる新たな地域価値を生み出します。

目標3 健康長寿社会の実現

幸福な社会の中核となる地域医療を担う人材の育成や最先端医療の提供を通じ、人口減少社会の未来を見通した健康長寿社会の地域モデルを実現します。

04 | 経営のビジョン

透明性の高い経営で、社会からの信頼と期待に応え、ステークホルダーが積極的に参画する戦略的経営を推進します。地域の人々がつながり、活動する「コモンズ」として、地域にとって不可欠の存在となる大学を目指します。

目標1 信頼と期待に 応える経営

機関分析に基づく戦略的な資源配分で学術機関としての機能と価値を高め、コンプライアンスと市民目線の情報公開を徹底して、社会からの信頼と期待に応える経営を行います。

目標2 ステークホルダーの 参画

経営に参画する幅広いステークホルダーとの互恵的協働関係を構築し、予測不能な時代の変化を乗り越える強靱な存立基盤を確立します。

目標3 コモンズとしての キャンパス

多様な人々が集い、安心安全な環境でのびやかに活動する「コモンズ」として、キャンパスのサービス機能を拡張し、様々なパートナーと共に地域の活性化に貢献します。



3つの使命

地域創生

次世代形成

多文化共生

5つの基本理念

山形大学は「自然と人間の共生」をテーマとして、次の5つの基本理念に沿って、教育・研究及び地域貢献に全力で取り組み、国際化に対応しながら、地域変革のエンジンとしてキラリと光る存在感のある大学を目指しています。

●学生教育を中心とする大学創り

学生が主体的に学ぶ環境を作り、学生目線を大切にして学生とともに成長する大学を目指す。

●豊かな人間性と高い専門性の育成

幅広い教養を基盤とした豊かな人間性、高度で実践的な専門性、課題発見と解決能力を養成する教育を通じて、知・徳・体のバランスのとれた人材を育成する。

●「知」の創造

人類の諸課題を解決するため、山形大学の強みと特色を活かした先進的研究を推進する。

●地域創生及び国際社会との連携

地域に根ざして、世界をリードする大学を目指す。

●不断の自己改革

将来にわたる持続的な成長のため、計画・実行・評価・改善の改革サイクルによる大学改革を継続する。

山形大学将来ビジョンに関するお問い合わせ



国立大学法人山形大学 総務部総務課秘書広報室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号 TEL:023-628-4008 FAX:023-628-4013

Email:yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp ホームページ:<https://www.yamagata-u.ac.jp>



ひらめき☆研究ライフ

山形大学 学術研究院

邢 文静

連絡先

Tel : 0238-26-3782

Mail: xing@yz.yamagata-u.ac.jp

名 前 : 邢 文静 (シュン ウンジュン)

所 属 : 山形大学大学院理工学研究科
機械システム工学専攻

役 職 : 助教

出 身 : 中国・内モンゴル

生年月日 : 1991年10月

略歴

学歴 :

2014年7月 内モンゴル工業大学 工学部 過程装備と制御工程 卒業

2020年3月 広島大学大学院 工学研究科 機械システム工学 修了
(博士課程・前期)

2022年9月 広島大学大学院 先進理工系科学研究科 機械工学 修了
(博士課程・後期)

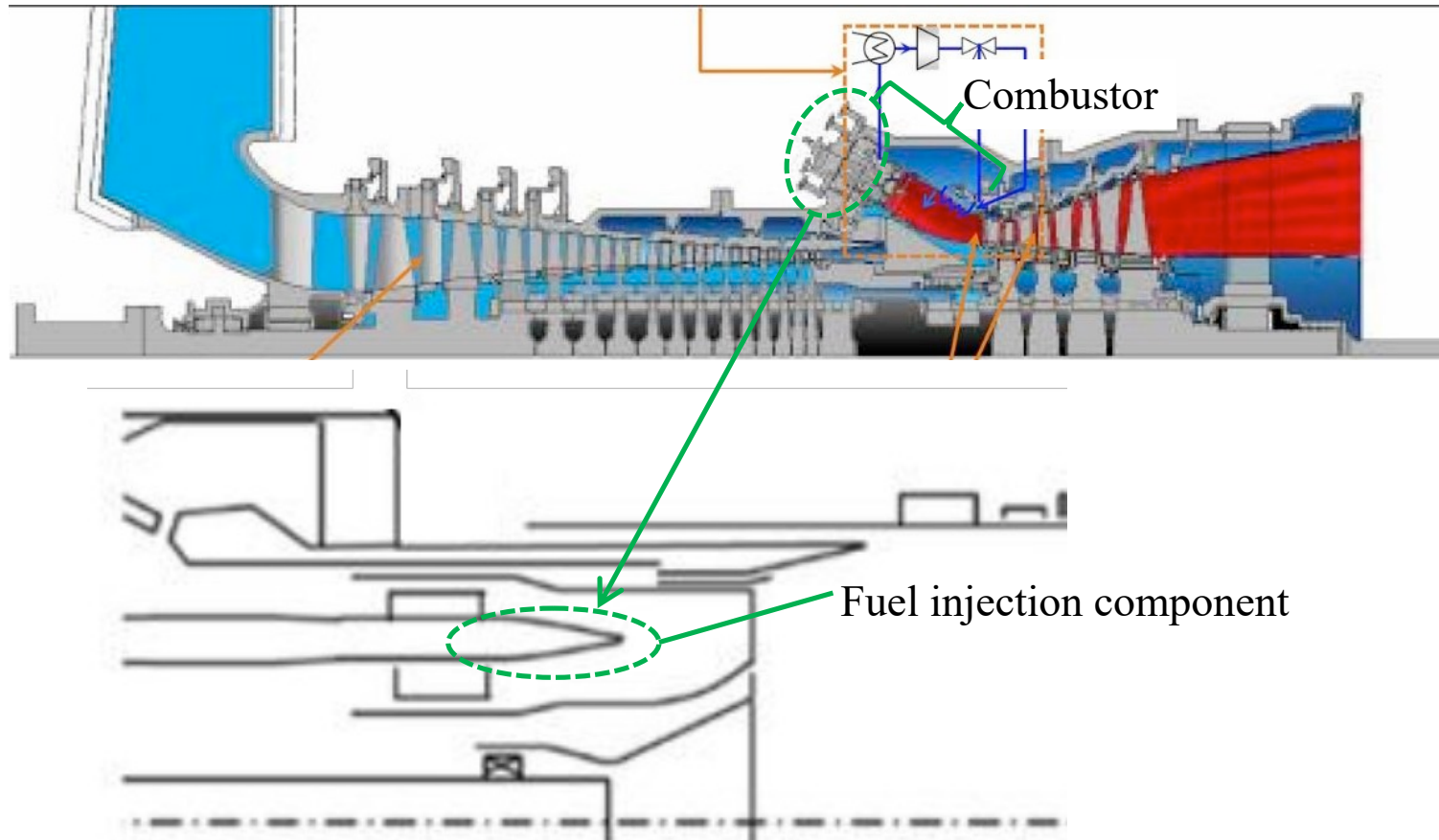
職歴 :

2022年9月～2023年3月 広島大学 NEDO 研究員

2023年4月～現在に至る 山形大学工学部

今 どんな研究をしているの？

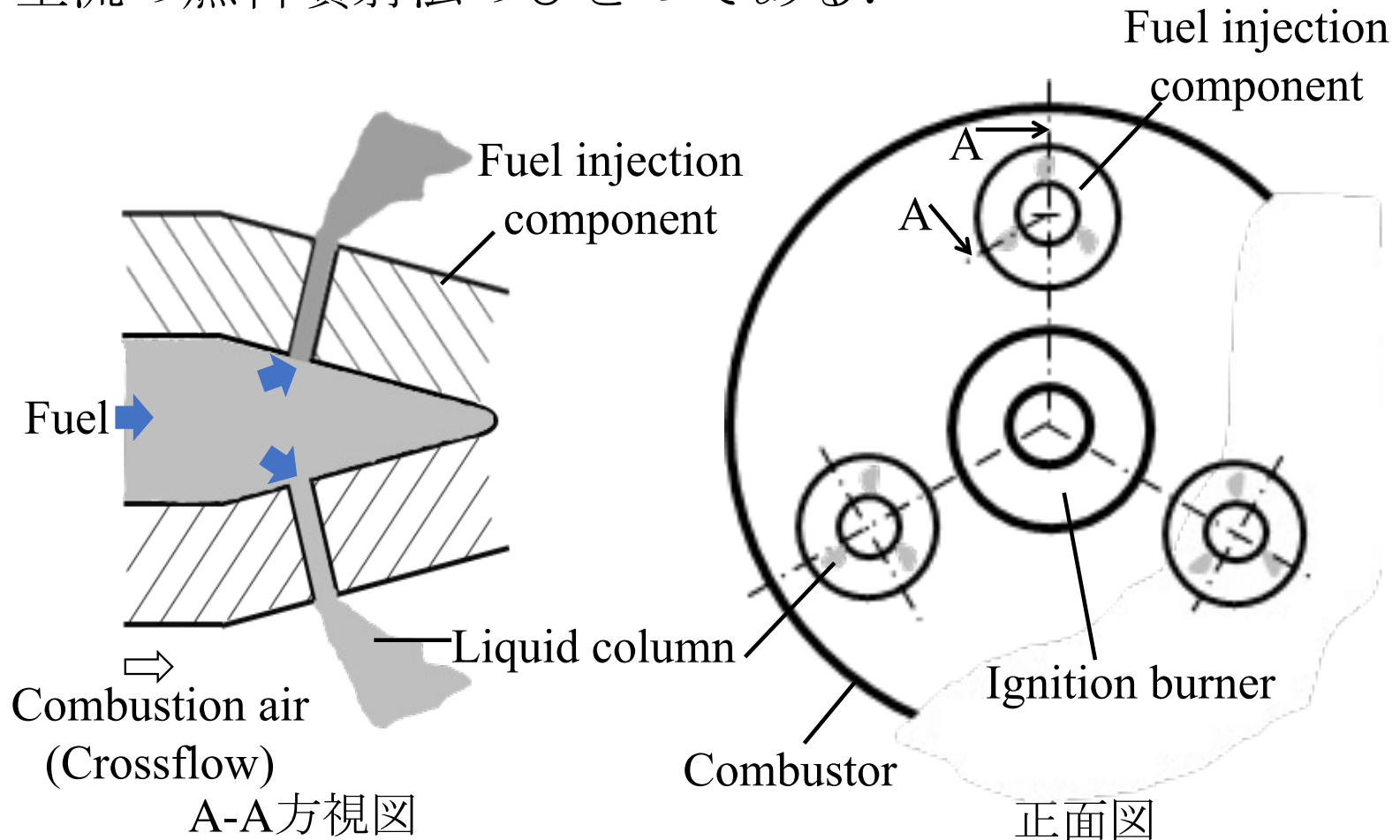
- 本研究で対象としているのは火力発電所における大型ガスタービン燃焼器の燃料噴射装置である。



Mitsubishi Heavy Industries Technical Review, vol.58, no.3, pp.1-10, 2021.

今 どんな研究をしているの？

- 発電用大型ガスタービンにおいて、**横風微粒化**方式は、主流の燃料噴射法のひとつである。



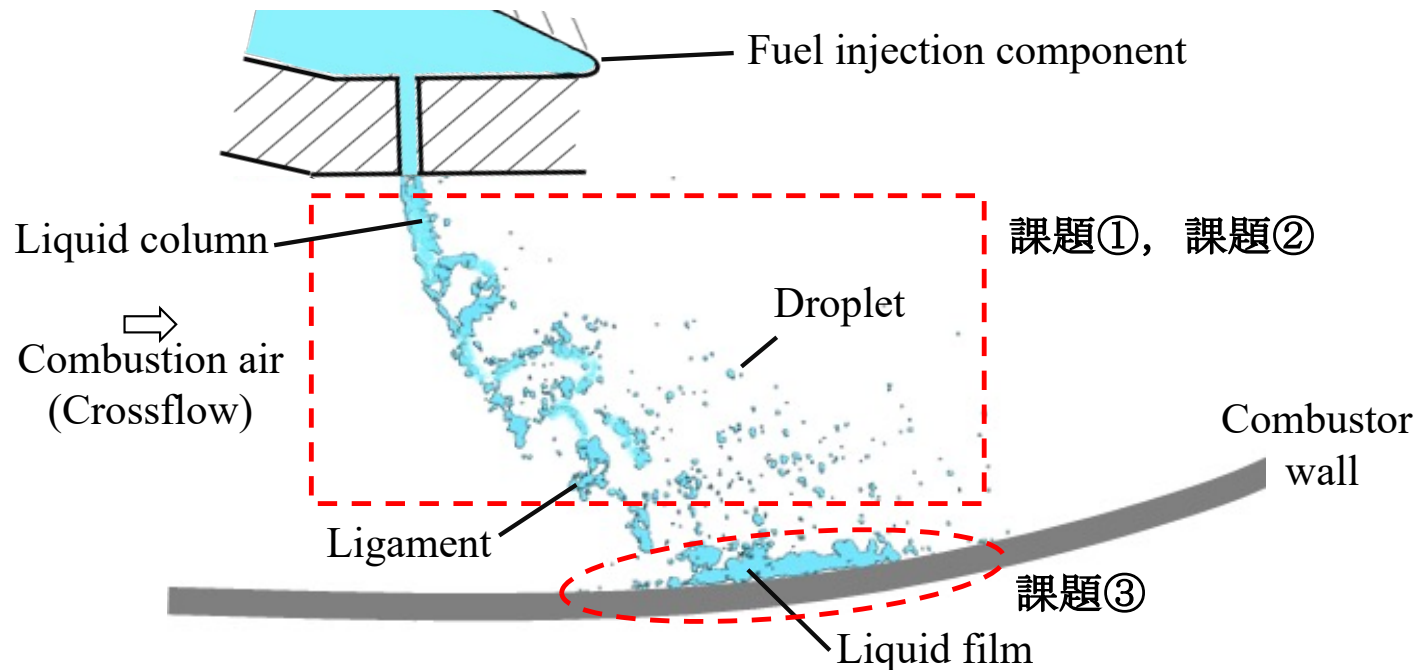
今 どんな研究をしているの？

熱効率向上, エミッション(煤, CO, NO_x), 機器損傷低減, 信頼性向上

課題①：液体燃料の分裂過程

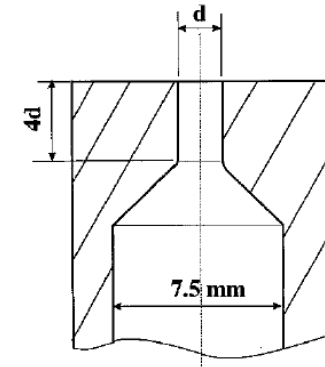
課題②：液体燃料の燃焼器内への分散と燃焼用空気との混合

課題③：ガスタービン燃焼器内壁へ衝突する液体噴流の挙動

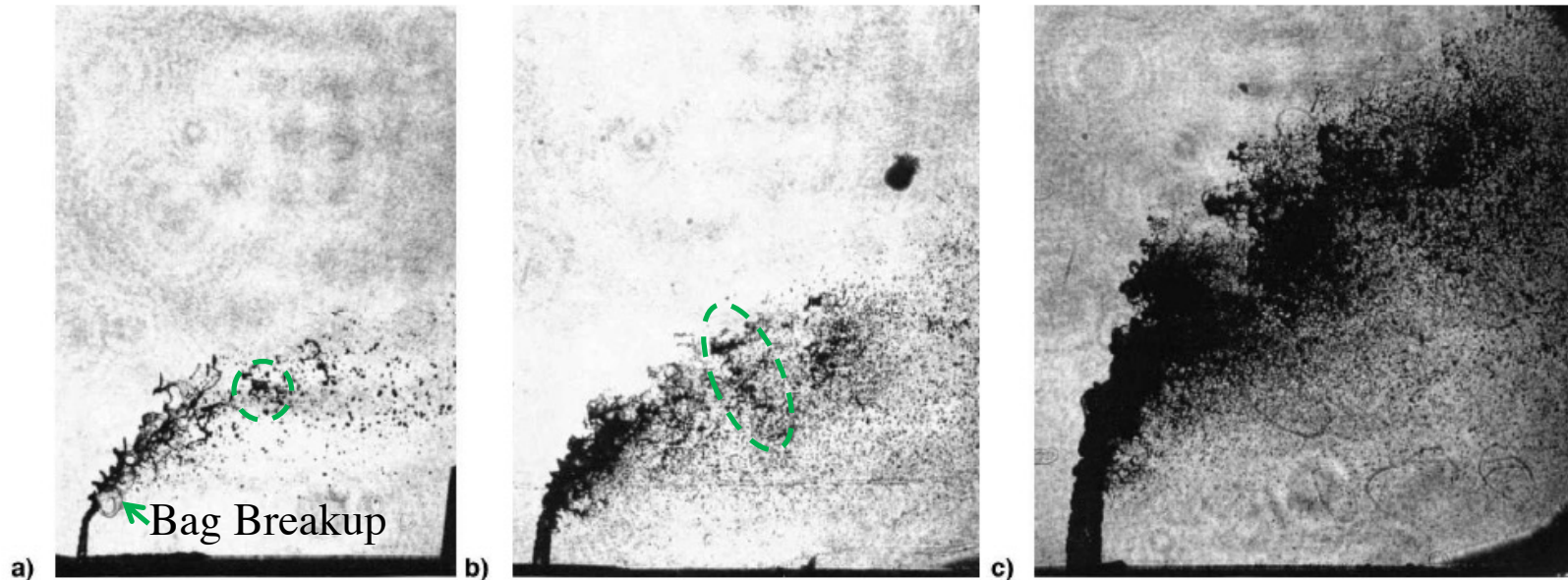


今 どんな研究をしているの？

- Wuら(1997), 稲村ら(1997), Ngら(2008)の研究により, 横風中に噴射された液柱噴流の分裂特性が明らかにされた.
- 液柱が分裂して, リガメントや液滴になり, そのリガメントや粗い液滴が燃焼を悪化させる.

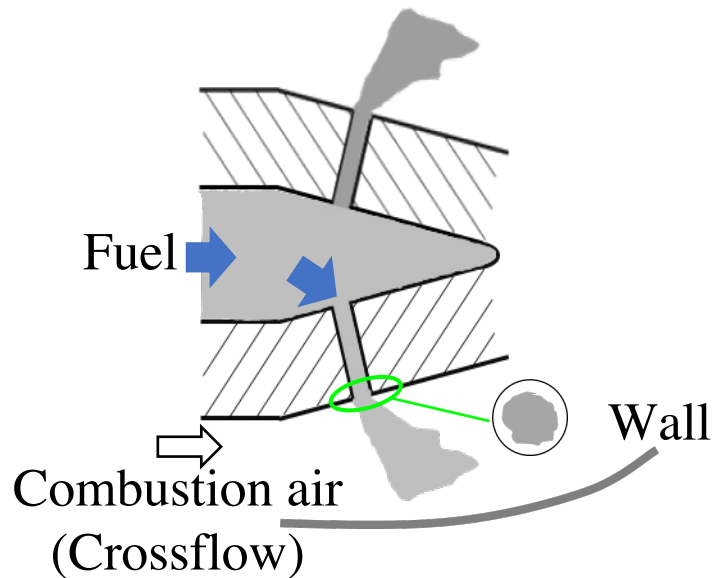


Nozzle geometry

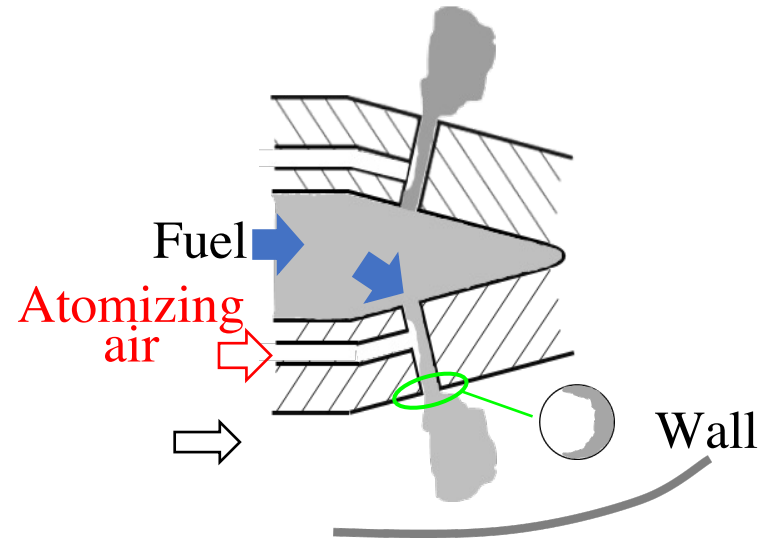


Examples of jets in crossflows (Wu et al., 1997)

今 どんな研究をしているの？



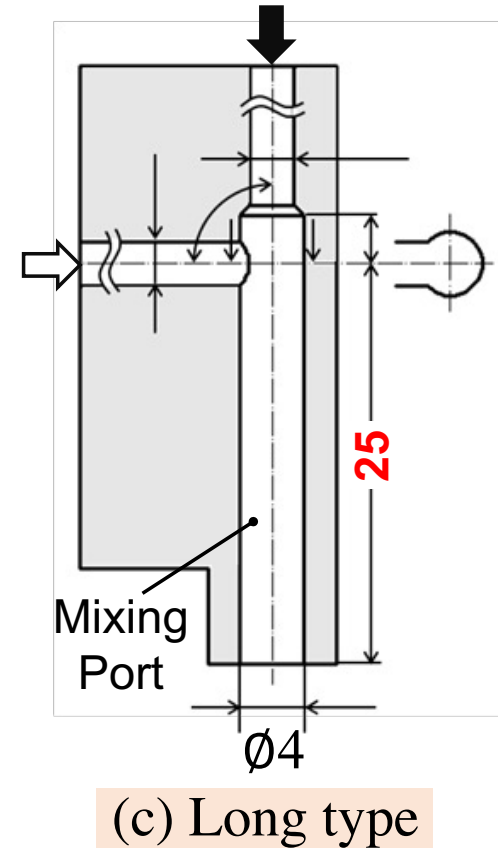
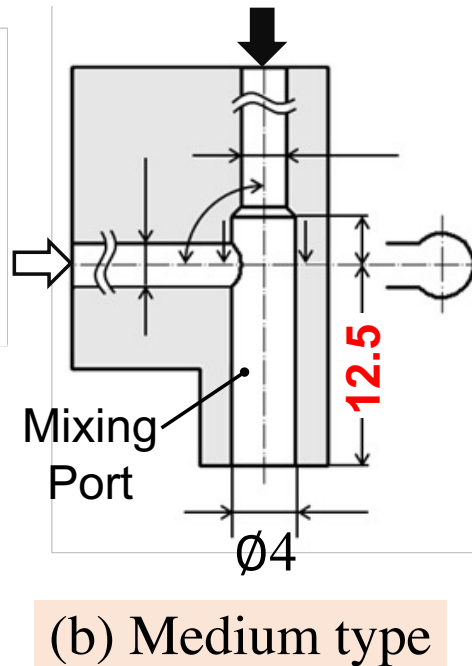
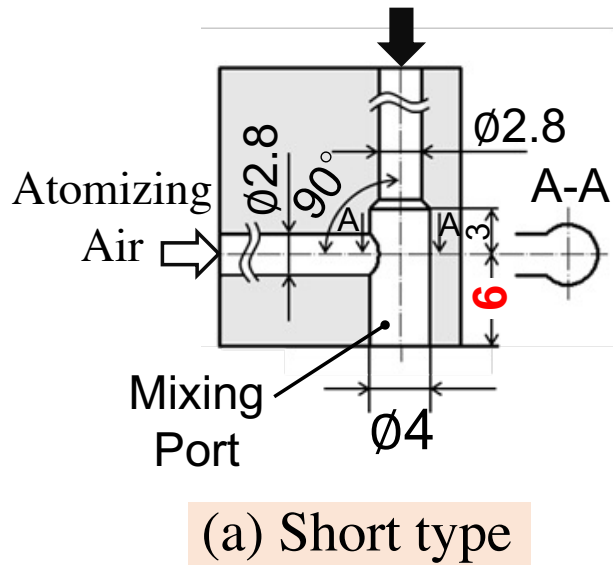
液体のみ噴射（現状）



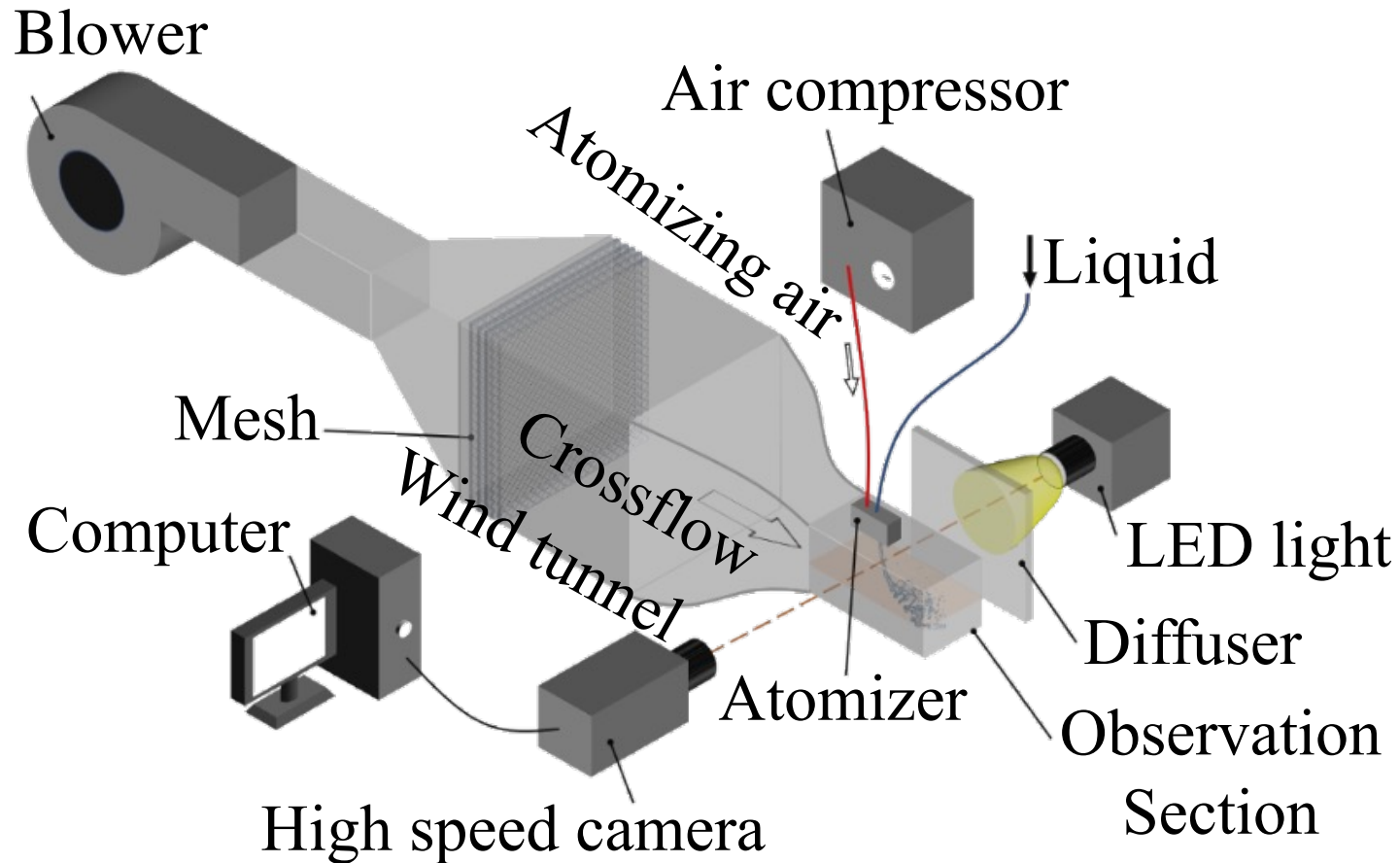
二流体噴射
(本研究による提案)

今 どんな研究をしているの？

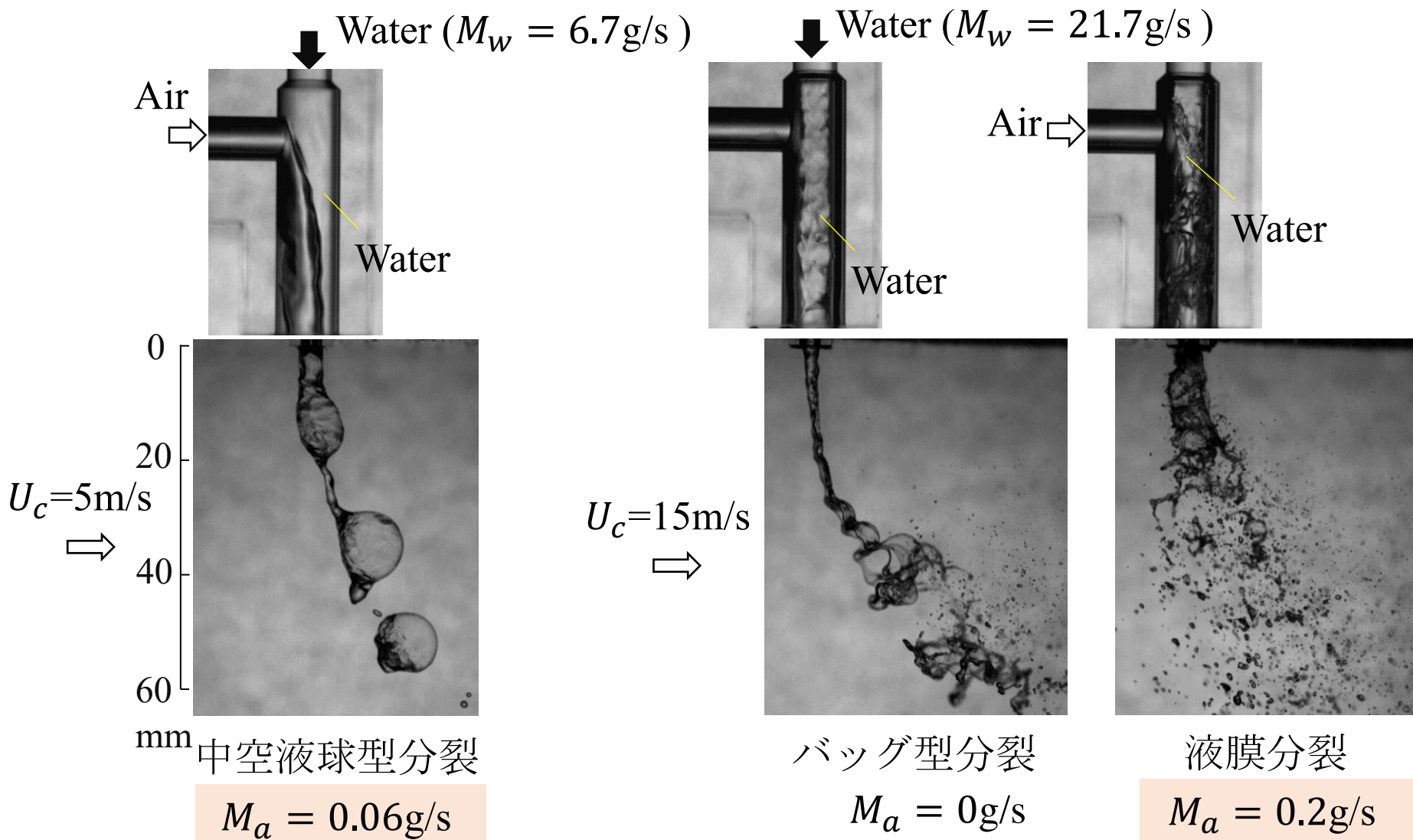
- 気液を直角に衝突・混合させる.
- 混合孔の長さが異なる3種類の噴射弁を試作.



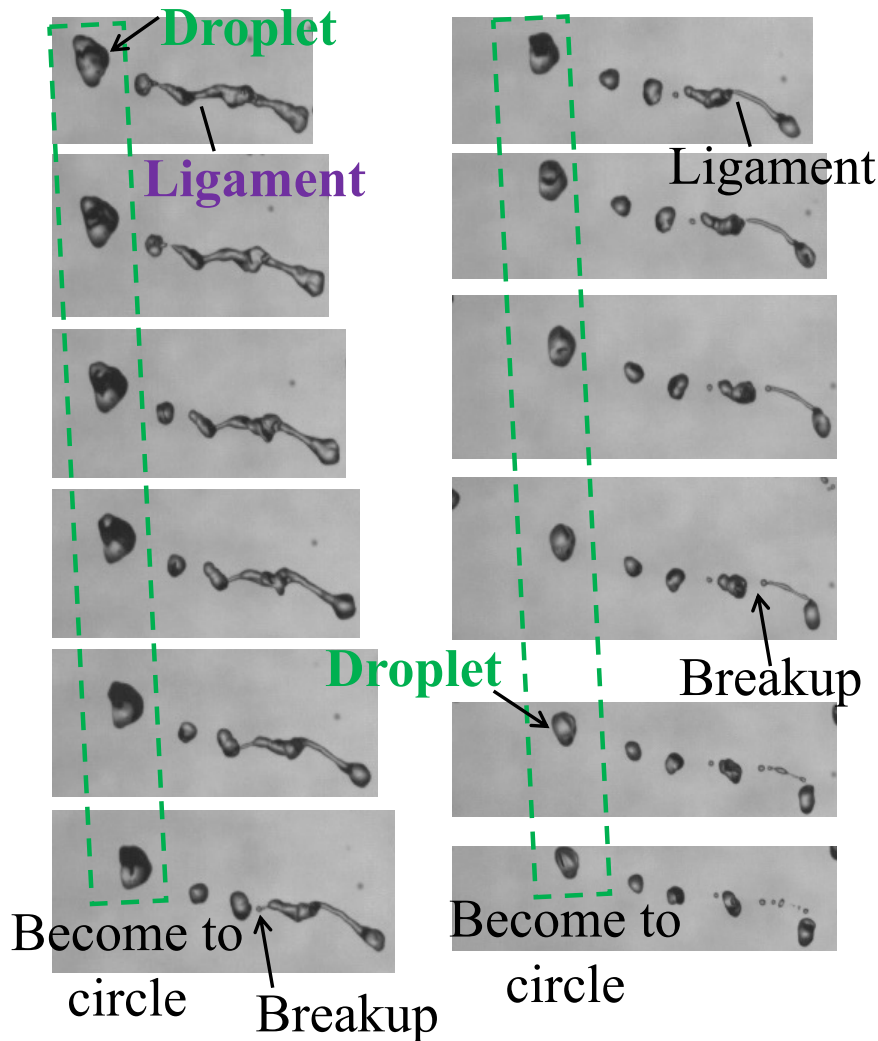
今 どんな研究をしているの？



今 どんな研究をしているの？



今 どんな研究をしているの？

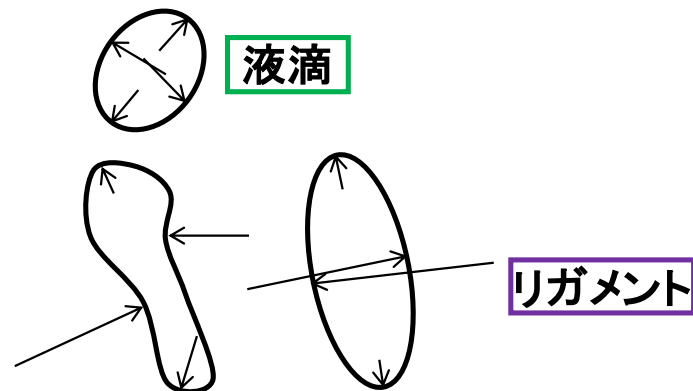


(1) 時系列画像

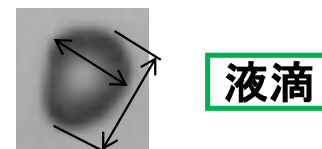
分裂したら **リガメント**

丸く収まったら **液滴**

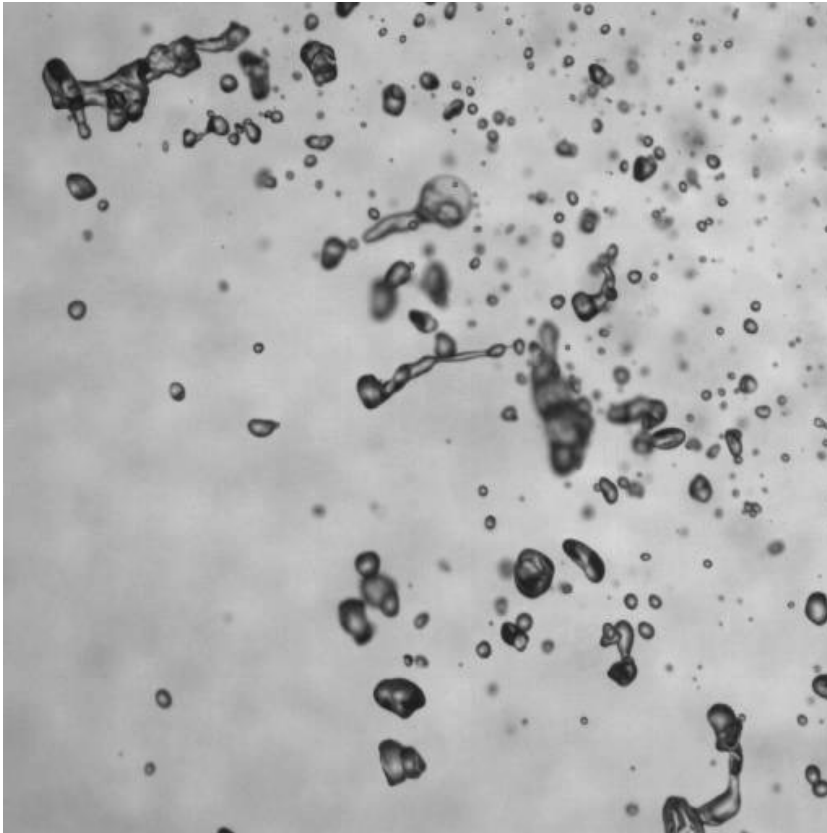
(2) 曲率中心の液体内・外



(3) 短軸/長軸比



今 どんな研究をしているの？



Raw image

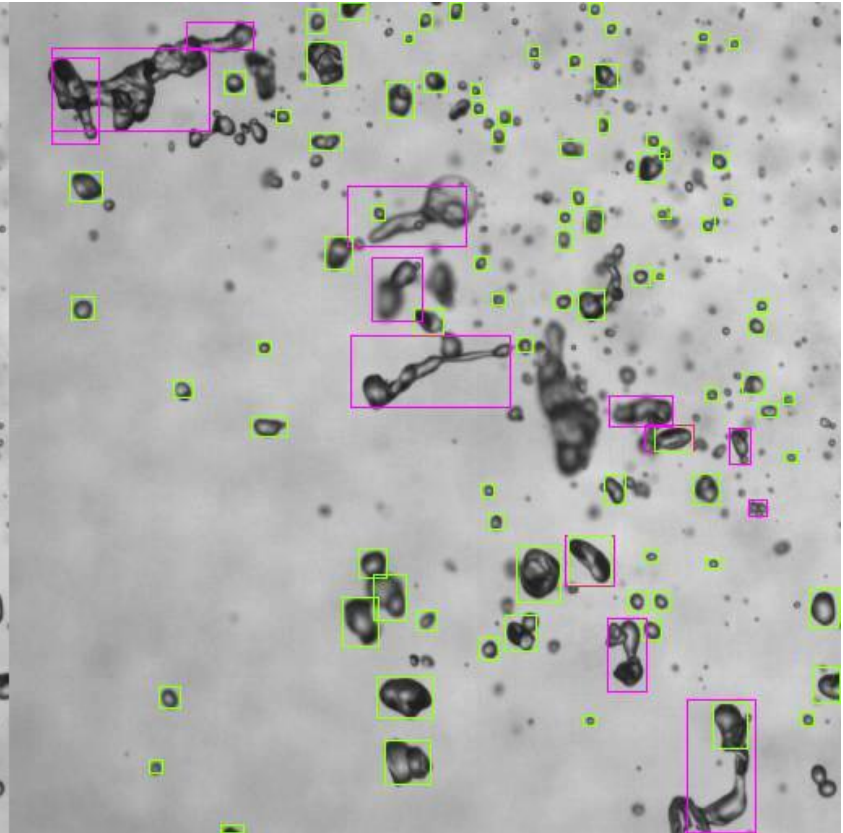
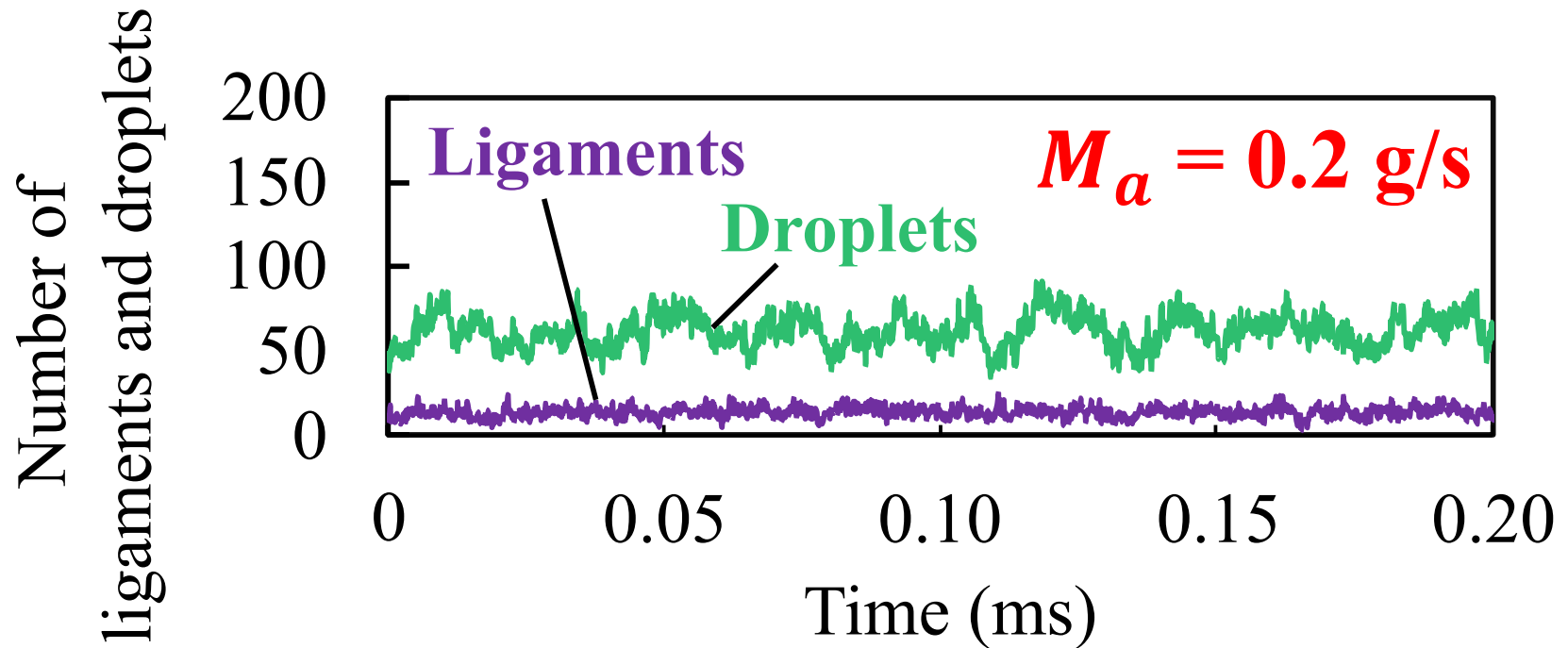


Image after processing

$U_c = 14.5 \text{ m/s}$; $M_w = 21.7 \text{ g/s}$; $M_a = 0.12 \text{ g/s}$

今 どんな研究をしているの？

- リガメントの数には大きな変化が見られない。



どんなときにひらめきますか？

- 論文を読んでいる時
- 研究費申請書を書いている時
- いろいろな人と議論をしている時
- 歩いている時
- 新しい分野の研究内容を調べ、理解しようとしている時

先生の ひらめきアイテムはコレ！



■ 私の元気の源は美しい景色と食べ物

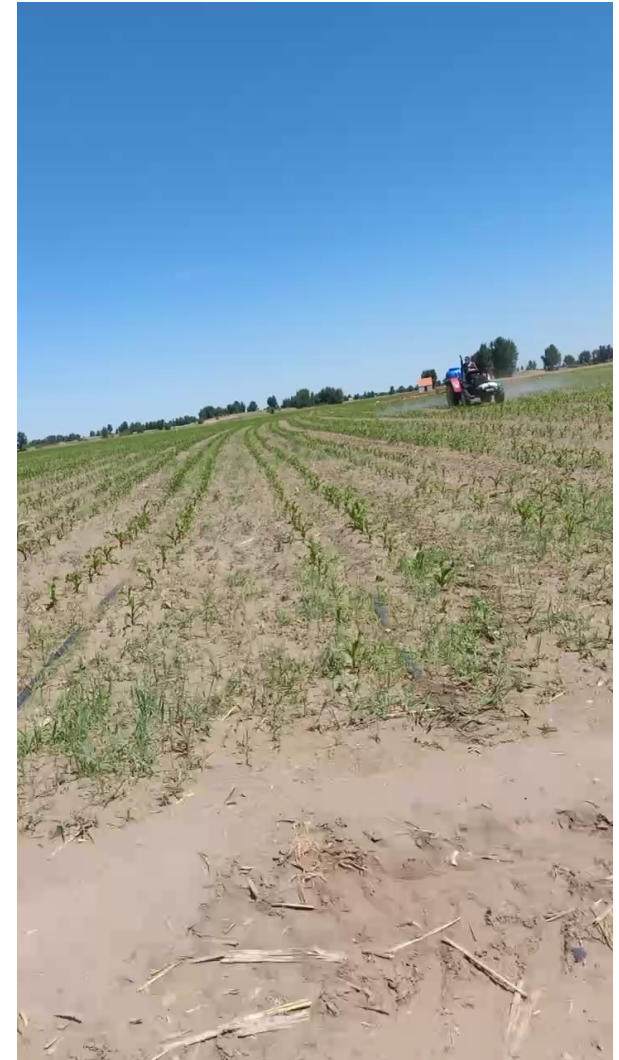
先生の夢・メッセージ

■ 夢

工学的アプローチで、農業や環境に
貢献できる研究



<https://www.joetsu.ne.jp/111251>



■ メッセージ

不運と思う時、必ず幸運が静かに
近づいてきます



9月20日水》》22日金

10:00～17:00

東京ビッグサイト 東ホール



惣菜・デリカJAPAN

- 惣菜製造自動化・設備機器展 -



YAWARAKA 3D
Soft 3D Co. Creation Consortium

株式会社 IHIエアロスペース

株式会社IHIエアロスペース

共同出展者：山形大学
十文字学園女子大学
ノードソン株式会社

小間番号： P-24

3D調理プリンタが未来の料理を切り開く。

展示内容・みどころ

調理の音が変わる！？ 3Dクッキングプリンタ 宇宙を目指して

IHIエアロスペースでは、初公開となる3Dクッキングプリンタによる「立体調理」をブースにて実演をまじえてご紹介します。
SF好きにはたまらない！ ロケット開発メーカーが掲げる調理の未来をお見せします。

